

平成24年度決算に伴う

健全化判断指標の公表

市は平成24年度の決算報告と合わせ、地方公共団体の財政の健全化に関する法律(以下、財政健全化法)に基づき、健全化判断指標を公表します。

◆財政健全化法とは

平成19年6月にできた法律で、自治体の財政破たんを未然に防ぐため、国が財政状況をより詳しく把握し、悪化した団体に対して早期に健全化を促すためのものです。

この法律では、自治体が財政破たんしないようにチェックするため、5つの目安(指標)が示されています。一つでも基準を達成しない場合は、早めに対応しなければなりません。

◆5つの目安(指標)とは

①実質赤字比率

一般会計を中心とした普通会計が赤字になった場合の、収入に対する

赤字の割合です。普通会計が赤字でないかをチェックします。

②連結実質赤字比率

普通会計に、国民健康保険事業や下水道事業などの特別会計を加えた全ての会計の合計が赤字になった場合の、収入に対する赤字の割合です。全会計を合わせて赤字でないかをチェックします。

③実質公債費比率

収入のうちどのくらいを借金の返済に充てているかの割合です。現時点での借金返済額が多すぎないかをチェックします。

④将来負担比率

収入に対する実質的な借金残高(これから返済しなければならない借金の割合)で、借金残高から貯金

を引いた残りの額が年間収入の何%になるかを表した数値です。将来返済しなければならぬ借金が多すぎないかをチェックします。

⑤資金不足比率

水道事業などの企業会計が赤字の場合の、事業規模に対する赤字の割合です。企業会計が赤字でないかをチェックします。

◆各指標の日光市の数値

平成24年度決算における市の各指標の数値は次のとおりです。

5つの目安(指標)	早めの対応が必要となる基準	市の数値(前年度比)
①実質赤字比率	12.06%以上	-
②連結実質赤字比率	17.06%以上	-
③実質公債費比率	25.0%以上	8.6% (▲0.8ポイント)
④将来負担比率	350.0%以上	51.8% (▲1.8ポイント)
⑤資金不足比率	20.0%以上	-

右のとおり、平成24年度決算では、③実質公債費比率が8.6%、④将来負

担比率が51.8%となりました。これらの数値から、市は年間収入の約1割(8.6%)を借金の返済に充てており、借金残高から貯金を引いた実質的な借金残高は収入の約5割(51.8%)であることが分かります。どちらの数値も早めの対応が必要となる基準を下回っています。

また、前年度に比べて、③実質公債費比率が0.8ポイント、④将来負担比率が1.8ポイント改善しています。これは、低金利の影響などにより地方債の元利償還金が徐々に減っていることや、地方交付税で補てんされる額および基金への積み立て(貯金)が増えたことが主な理由です。

なお、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、⑤資金不足比率については、各会計とも黒字のため表示していません。

財政健全化法の基準で見た場合、市は早期に健全化のための対応を必要とする状況にはなっていません。しかし、地方交付税に依存していることや借金残高が多いことなど、財政状況が厳しいことには変わりありません。こうした点にも注意しながら、今後も財政の健全化を図っていきます。

くわしくは

財政課 財政係 ☎(21)5162



◆ラピッド市ってこんなところ

ラピッド市は、アメリカ合衆国サウスダコタ州西部に位置する都市で、人口は約6万人です。

自然の宝庫であるブラックヒルズの近くに位置し、4人の大統領の顔のモニュメントで有名なマウントラシユモアやクレージーホース記念碑などがあり、毎年約300万人の観光客が訪れています。また、自然を生かした農業や林業も盛んです。

◆互いの文化や習慣を知り、反好を深める

7月22日(月)～8月2日(金)の12日間、市の中学生・高校生8名がラピッド市を訪問しました。滞在中、生徒たちはマウントラシユモアやクレージーホース記念碑、バッドランズ国立公園などを見学し、アメリカのスケールの大きさ、雄大な自然に驚き、感動していました。また、ホームステイを通じて、ホストファミリーとの交流を楽しみ、充実した日々を過ごしました。

日光市の生徒の帰国と一緒に、ラピッド市の高校生6名が来日しました。8月10日(土)まで9日間、ホームステイしながら、市の生徒たちと一緒に市内を観光したり、日光彫

を体験したりするなど、日本の文化や習慣に触れました。

また、日光市の観光パートナー都市である茨城県大洗町での海水浴も楽しみました。当市と同様に、ラピッド市にも海が無いが、生徒たちは時間を忘れて初めての海を楽しみました。



生徒からは、「アメリカの人の優しさやおらかさに触れることができ、良かった」「派遣生との活動やホストファミリーと過ごした時間は一生の宝物」「もつと英語を勉強して、またラピッド市に行きたい」といった感想や目標が聞かれました。市は今後も、国際交流が広がるような事業を継続していきます。

◆派遣生徒の感想文

ラピッド市に行つて感じたこと

ラピッド市で過ごした12日間は、私にとってかけがえのないものとなりました。まず、ラピッド市の空港で、ホストファミリーの皆さんが笑顔で待っていてくれたことに、とて

紹介します!

ラピッド市との中学生・高校生交流事業

市は、海外姉妹都市ラピッド市とさまざまな交流事業を通じて友好を深めています。今回は、7月から8月にラピッド市に行った中学生・高校生の相互交流事業を紹介します。

くわしくは 観光交流課 観光交流推進係 ☎21-5196



あさだことわ
文：浅田琴和(明神)
今市高等学校2年